

# 宇治市公報

宇治市宇治琵琶33  
 発行 宇治市  
 政策経営部  
 行政経営課  
 電話 22-3141番  
 印刷 宇治市横島町吹前123-4  
 (南山城複写センター)

## 目次

### 告 示

- 告示第16号 市道路線の認定……………（建設総務課）…2
- 告示第17号 議決予算の公表……………（財務課）…2

### 公 告

- 公告第8号 自治功労者等の表彰……………（秘書広報課）…3

### 公 平 委 員 会

- 告示第1号 公平委員会公開口頭審理の実施……………4

### 監 査 委 員

- 公表第4号 定期監査の結果の報告……………4

**告 示**

**宇治市告示第16号**

市道路線の認定について

道路法（昭和27年法律第180号）第8条の規定により、市道路線を次のように認定します。

その関係図面は、宇治市建設部建設総務課において、一般の縦覧に供します。

縦覧期間 平成30年3月16日から14日間  
平成30年3月16日

宇治市長 山本 正

路 線 名	起 点 終 点	重要な経過地
宇治橋線	宇治妙楽53番地 宇治考番133番地の1	
J R 宇治駅前線	宇治宇文字17番地の16 宇治考番68番地	
J R 宇治駅前広場線	宇治宇文字29番地の2 宇治妙楽182番地の11	
宇治395号線	宇治宇文字2番地の12 宇治考番85番地の1	
宇治396号線	宇治妙楽179番地の2 宇治里尻5番地の12	

**宇治市告示第17号**

議決予算の公表について

平成30年2月招集の宇治市議会定例会において議決された予算の要領を、地方自治法（昭和22年法律第67号）第219条第2項の規定により、次のとおり告示します。

平成30年3月16日

宇治市長 山本 正

平成29年度宇治市一般会計補正予算（第6号）

平成29年度宇治市の一般会計の補正予算（第6号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ11,500千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ63,504,394千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

第1表 歳入歳出予算補正

歳 入		(単位 千円)		
款	項	補正前の予算額	補 正 額	計
20. 繰 越 金		70,249	11,500	81,749
	1. 繰 越 金	70,249	11,500	81,749
歳 入 合 計		63,492,894	11,500	63,504,394

歳 出		(単位 千円)		
款	項	補正前の予算額	補 正 額	計
10. 教 育 費		4,476,373	11,500	4,487,873
	3. 中 学 校 費	517,697	11,500	529,197
歳 出 合 計		63,492,894	11,500	63,504,394

**公 告**

宇治市公告第8号

自治功労者等の表彰について

宇治市表彰条例（昭和26年宇治市条例第53号）第3条の規定により、平成30年3月1日（市制記念日）に自治功労者、篤志者及び永年勤続職員として表彰を受けた者の氏名及びその功績を次のとおり公告します。

平成30年3月16日

宇治市長 山本 正

1 自治功労者

氏 名	功 績
石 田 正 博	平成19年から現在まで市議会議員として、市政の推進に大きく貢献された。
荻 原 豊 久	平成7年から平成11年まで及び平成23年から現在まで市議会議員として、市政の推進に大きく貢献された。
森 真 二	平成17年から現在まで監査委員として、監査を通じて行政の適正化に大きく貢献された。
石 田 肇	平成17年から平成29年まで教育委員会委員として、教育行政の推進に大きく貢献された。
青 木 八千代	昭和61年から平成28年まで民生委員・児童委員として、地域社会の福祉増進に大きく貢献された。
鈴 木 妙 子	昭和61年から平成28年まで民生委員・児童委員として、地域社会の福祉増進に大きく貢献された。
尾 崎 十史子	平成元年から平成28年まで民生委員・児童委員として、地域社会の福祉増進に大きく貢献された。
清 水 桂 子	平成2年から平成28年まで民生委員・児童委員として、地域社会の福祉増進に大きく貢献された。
長 束 登百子	平成4年から平成28年まで民生委員・児童委員として、地域社会の福祉増進に大きく貢献された。
西 岡 香	平成6年から平成28年まで民生委員・児童委員として、地域社会の福祉増進に大きく貢献された。
光 島 智加枝	平成7年から平成28年まで民生委員・児童委員として、地域社会の福祉増進に大きく貢献された。
円 尾 幸 子	平成7年から平成28年まで民生委員・児童委員として、地域社会の福祉増進に大きく貢献された。
大 西 幸 江	平成7年から平成28年まで民生委員・児童委員として、地域社会の福祉増進に大きく貢献された。
谷 口 節 子	平成7年から平成28年まで民生委員・児童委員として、地域社会の福祉増進に大きく貢献された。

坂 本 和 子	平成7年から平成28年まで民生委員・児童委員として、地域社会の福祉増進に大きく貢献された。
山 本 智 子	平成7年から平成28年まで民生委員・児童委員として、地域社会の福祉増進に大きく貢献された。
北 村 愛 子	平成7年から平成28年まで民生委員・児童委員として、地域社会の福祉増進に大きく貢献された。
福 井 乃 扶子	平成7年から平成28年まで民生委員・児童委員として、地域社会の福祉増進に大きく貢献された。
白 井 淨 子	平成7年から平成28年まで民生委員・児童委員として、地域社会の福祉増進に大きく貢献された。
森 博	平成8年から現在まで保護司として、地域の犯罪予防と更生保護に大きく貢献された。
山 本 哲 治	平成19年から現在まで宇治商工会議所会頭、平成17年から平成25年まで宇治市観光協会会長として、本市の商工及び観光の振興に大きく貢献された。

2 篤志者

氏 名	功 績
(故) 池本 菊次	社会福祉資金として多額の金員を寄附された。
山都産業株式会社 会長 西岡 賢造	社会福祉資金として多額の金員を寄附された。

3 永年勤続職員

宇治川 譲	20年にわたり宇治市職員として、誠実勤勉にその職務に精励された。
宇 野 茂 実	〃
小 野 慎 也	〃
鹿 島 大 吾 郎	〃
加 島 桃 子	〃
上 川 亮 介	〃
河 合 和 康	〃
木 村 亜紀子	〃
木 村 春 男	〃
栗 原 麻衣子	〃
河 野 雅 之	〃
古 賀 正 一	〃
坂 井 美 水	〃
澤 田 直 子	〃
嶋 本 幸 子	〃
中 村 友 則	〃
西 裕 紀	〃
西 坂 通 章	〃
畑 裕 子	〃

波戸瀬 亮	〃
廣瀬 和久	〃
松浦 章吾	〃
宮城 三保子	〃
山本 丰一郎	〃
山森 浩平	〃
横山 絵里	〃

**公平委員会**

**宇治市公平委員会告示第1号**

公平委員会公開口頭審理の実施について

地方公務員法(昭和25年法律第261号)第50条第1項の規定により、公平委員会公開口頭審理を次のとおり実施します。

平成30年3月7日

宇治市公平委員会

委員長 後藤 美徳

1 日 時 平成30年3月14日(水) 10時30分から11時00分(終了予定)

2 場 所 宇治市宇治琵琶45番地の13  
宇治市産業会館

(揭示済)

**監査委員**

**宇治市監査委員公表第4号**

地方自治法(昭和22年法律第67号)第199条第11項の規定により、監査の結果に関する報告を決定しましたので、同条第9項の規定により次のとおり公表します。

平成30年3月5日

宇治市監査委員

小山 茂樹

森 真二

水谷 修

**第1 監査の種類**

地方自治法第199条第4項の規定による定期監査

**第2 監査の対象**

平成29年度上下水道部の財務に関する事務の執行について

**第3 監査の実施期間**

平成29年12月1日から平成30年1月23日まで

**第4 監査の概要**

この監査は、上下水道部下水道計画課、下水道建設課及び下水道管理課における事務事業のうち、主として平成29年4月1日から同年10月31日までの財務に関する事務を対象とし、それぞれの関係諸帳簿、証拠書類等を審査し、文書及び口頭による質問調査並びに実地調査を実施した。

**第5 監査の結果**

今回の監査は、次の項目について実施した。

補助金支出状況(下水道計画課・下水道管理課)

委託料支出状況

工事請負費支出状況

賃借料支出状況(下水道計画課・下水道管理課)

備品管理状況

監査の結果は、後記一部指摘事項や留意を要する事項が見受けられたが、おおむね適正であった。特に指摘する事項が見当たらなかったものについては、今後とも、引き続き適正な事務の執行、管理に努められたい。

なお、事務処理を行うに当たっては、その事業の目的、意義、効果等を十分検証するとともに、事務事業が経済性・効率性・有効性の観点から適切に執行されるための内部統制が重要である。財務に関する事務の執行においても、根拠法令等に基づく事務処理が求められるとともに、効率的かつ適正な事務処理が実現できるように、事務手続の根拠となる規則や規程等を点検するなど、前例踏襲によらず、常に工夫や改善をすることが求められており、監督者の役割

が重要であると考えられる。そのことをしっかり受け止めるとともに、職員一人ひとりが問題意識を持ち、それぞれの業務に生かして市民の信頼に応えられるよう要望する。

記

**1 下水道計画課**

(1) 委託料支出状況について

特になし。

(2) 備品管理状況について

特になし。

**2 下水道計画課・下水道建設課**

(1) 委託料支出状況について

特になし。

(2) 工事請負費支出状況について

特になし。

(3) 備品管理状況について

特になし。

**3 下水道計画課・下水道管理課**

(1) 補助金支出状況について

特になし。

(2) 委託料支出状況について

特になし。

(3) 工事請負費支出状況について

特になし。

(4) 賃借料支出状況について

特になし。

なお、平成26年度の前回定期監査等において、複数年度にわたる土地賃貸借契約について、債務負担行為の設定又は契約条項中に解除規定のないものが見受けられたと指摘した点については、今回も一部に同様の状況が見受けられた。しかしながら、新年度以降改善される見込みである。

(5) 備品管理状況について

特になし。

(揭示済)